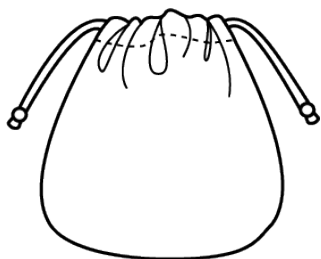


CHAKI² × STITCH
DESIGN
MINI - RECIPE
FREE-01



**BASIC STYLE
FRONT**

- スッキリとしているのに、マチつきで立体的な巾着です。
- コップ入れに最適なサイズ感。子供用歯ブラシも入ります。（歯ブラシによっては入らない場合もあります。）
- お財布を入れたり、サニタリー用品を入れたり、あなたのアイデアでいろいろな場面で活躍します。
- 切り替えを入れたり、レース・ワッペン・タグなどいろいろカスタマイズしてくださいね。
- ソーイング初心者でも簡単に作れて、アレンジしやすいように、少ない手順で完成できる型紙&レシピになっております。

かんたん&お手軽に作れて、自由にデザインできるので、ぜひたくさん作ってくださいね。

MATERIALS

材料

- **生地**
 - 布帛生地や、裏毛やスムースなどのニット生地もOK。薄すぎない生地がおすすめ。
 - その他、タオル地（パイル）や柔らかめビニールコーティング生地など、あなたのアイデアでいろいろな生地を使用して頂けます。
- ※切り替えデザインにアレンジして生地を複数使う場合は、色落ちなどに注意してください。

生地（表地）	20cm幅×50cm
--------	------------

- **ひも**
 - スピンドル（丸ひも）や平ひも、ワックスコード・レースなどお好きなヒモ素材をご用意ください。
 - 片ひもしばりてループエンドを使用する場合は、半分でOK。
- ※ひも通し口2cm幅に2本入る太さならOK。長さもお好みでご用意ください。

ひも	直径25~10mm程度×90cm以上
----	--------------------

- **その他**
 - デザイン用の副資材や、洋裁するための道具をご用意ください。

【THE BASIC OF SEWING TEXT】をお持ちの方は、糸と針の関係や詳しい道具、代替品の提案が記載されておりますので、ぜひご覧ください。

DRESSMAKING PROCESS

洋裁の手順

1) ミニレシビにざっと目を通す。

【THE BASIC OF SEWING TEXT】をお持ちの方はこちらをご覧ください。

2) 使用する生地地の直しをする。

- やりやすい方法で地直ししてください。
- 詳しくは【THE BASIC OF SEWING TEXT】に記載されています。お持ちの方はご覧ください。
- 必要性がない場合は不要。

3) 型紙をカットする。

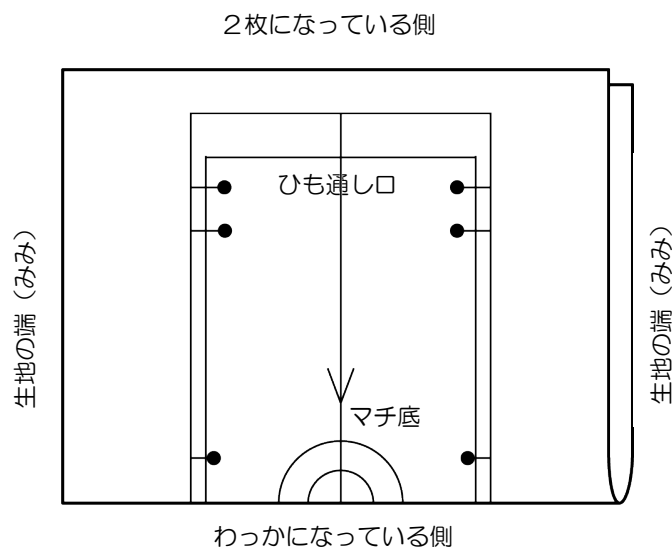
- 型紙をカットするポイントは【THE BASIC OF SEWING TEXT】に記載されています。お持ちの方はご覧ください。

4) 生地（表地）を裁断する。

※詳しい裁断のやり方は【THE BASIC OF SEWING TEXT】に記載されています。お持ちの方はご覧ください。

- 下図の注意を参考に裁断してください。
※すべてのパーツが裁断できれば、どんな配置でもOKです。

使用する生地の柄によって、
裁断方向を変更してもOK。



①生地端(みみ)をしっかりと合わせて2つに折り曲げる。
(左図は分かりやすいようにズれています。)

②2つに折り曲げたわっか側にマチ底部分を合わせる。

※生地を広げて、型紙を突き合わせて裁断してもOK。

③型紙の●印部分（できあがり位置・開き止まり・マチ折り曲げ位置）に印を付ける。

【ほつれてくる心配がない生地の場合】
→糸切はさみなどで端を2mm程度カットする。

【ほつれやすい生地】
→チャコペンなどで印をつけておく。

5) タグやテープなどでデザインしたい場合は、ここで縫い付けておく。

※マチつきの為、コップを入れた時のバランスを考えて、位置を決めて下さい。

6) ロックミシンまたはジグザグミシンで、両端にステッチをかけて端の始末をする。

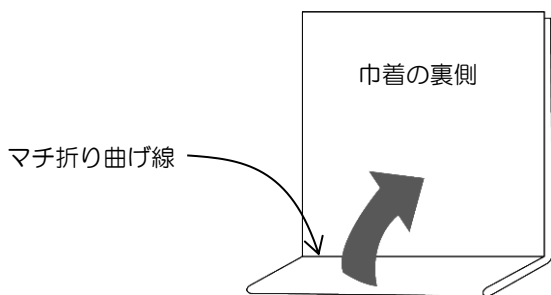


ロックミシンのメスはロックし、
端をカットしない方法をおすすめします。

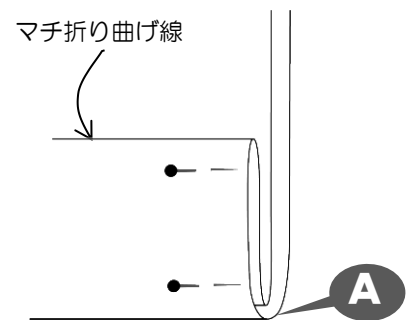
7) 空環の処理をする。※空環→生地なしでロックミシンを進めるとできる糸部分のこと。

※ほつれないようになれば良いので、普段行っている方法で処理してください。
※詳しくは【THE BASIC OF SEWING TEXT】に記載されております。お持ちの方はご覧ください。

8) 巾着を中表に合わせて、アイロンでマチを折り曲げ、マチ針でとめておきます。

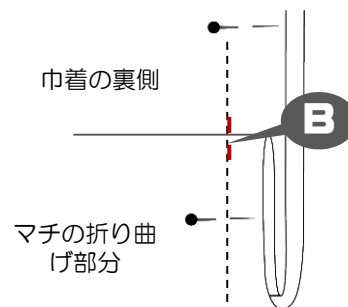


①巾着の裏側をマチ折り曲げ線で上へ折り曲げる。



②上図ようになります。A にすき間を作らないようにしっかりと折り、マチ針でとめる。

9) 両端を直線ミシンで開き止まりまで1 cmで縫い合わせます。



※余裕のある方は、マチの折り曲げ線の端(B)を、1 cm程度幅で1度返し縫をしながら縫い進めて補強する。

10) アイロンで先程縫い合わせた部分の縫い代を割ります。

※下部はマチがありますので、縫い代を割れる上部分のみでOK。



片側づつやると
キレイに折り曲
げられます。

11) 巾着を表にひっくり返します。

12) 先ほど縫い代を割った部分を、直線ミシンで開き止まりまでコの字にステッチをかける。



※お使いのミシンによって、表側からの方がステッチがキレイな場合がありますので、お好みで調整してください。



※開き止まりまで縫ったら、写真のように縫い代を横断し、ひも通し口へ向かってステッチをかける。(コの字型。)

13) 直線ミシンで開き止まりに、補強のために『かんぬき止めステッチ』をかけます。(手縫いでもOK。)



※開き止まりの補強のために、返し縫いを2回程度行うイメージでOK。

※コの字一辺すべてに返し縫いを行っても、中心部分に2~3目程度のステッチでもOK。

※脇の縫い合わせステッチにかんぬき止めステッチがかかればOKです。

14) 巾着の裏側から上部を折り曲げてひも通し口をつくる。(アイロン定規があると便利です。)

アイロン定規の作り方は【THE BASIC OF SEWING TEXT】に記載されています。お持ちの方はご覧ください。



①端から1cmで折り曲げる。



②出来上がり線位置の合印で折り曲げる。

15) ひも通し口に直線ミシンでステッチをかけます。



※折り曲げた側のキワを縫います。(端から1~2mm程度幅)

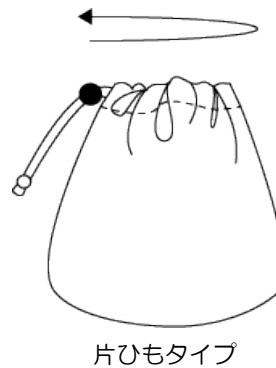
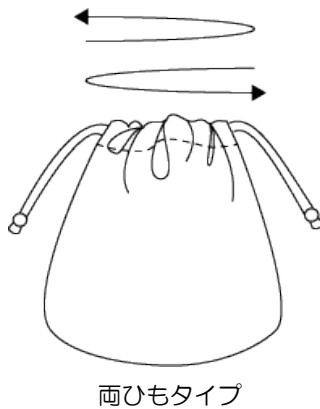
生地が分厚い場合は、3mm程度幅でOK。
縫い代にステッチがかかる1cm以内ならOKです。

※縫い始めは、生地が分厚く失敗しがちです。

上のように、ミシンの押さえが水平になるよう、向こう側にハギレや紙などをはさんで縫い始めるとスムーズにステッチができます。

16) 仕上げにアイロンをかけてキレイに整えます。

17) ひもを半分にカットし、両側から通して結びます。(ひも通しまたは安全ピンなどで通す。)



ひもを片側1本にして、ループエンドをつけてもOK

以上で完成です。お疲れさまでした。